



Q 毎年、夏には熱中症による被災者の話題を聞きまば、今年の暖候期(6

す。私の会社では屋外作業があるので注意をしているのですが、具体的にはどんなことに気をつけたらいいか教えてください。

A 気象庁の暖候期予報によれ

熱中症の予防方法

8月)は、特に西日本では気温が平年並みか平年より高くなること予想されています。昨年、鳥取県では7月10日から8月11日までの1カ月間に熱中症による搬送者が集中しました。熱中症は高温の環境の下で体温調節や循環機能などの働きに障害が起こる病気で、屋外の作業などは、まさに今、注意が必要で、

予想最高気温が30度以上の日には、鳥取県が「熱中症警報」を発令します。発令された日には特に注意を呼び掛けましょう。

屋外作業場では休憩場所やシャワー施設、水分・塩分の補給ができる設備を整えてください。

労働者には透湿性・通気性の良い服装や帽子を着用させ、のどの渇きを感じなくても、水分・塩分を取ることが勧められています。

また、睡眠不足や体調不良、前日の飲酒などは熱中症の発症に影響を与える恐れがあると言われています。作業開始前には体調の確認をすることも大切です。作業現場に応じた対策を講じるようお願いいたします。

鳥取労働局労働基準部健康安全課 電話 0857-29-1704